

問 農業経営の自立・安定化に向けて、どのように取り組んでいこうとしているのか。

市長 農業振興で基盤となる土地利用について、またまった優良農地を保全していくとともに、農業用水の安定確保を目的とした北総中央用水の活用による農産物の安定生産を推進していく。

また、機械化・施設化による生産体制の確立と消費者ニーズに対応した減農薬・減化学肥料など、環境に優しい農業を实践するために、土づくり等の持続型農業への取り組みを支援し、畜産については、優良畜畜等の導入や飼養管理技術の向上と衛生防疫対策の強化による安定的経営発展を進めるとともに、糞尿処理対策として耕種農家と連携した循環型農業を支援していく。

児童・生徒の問題行動

問 小・中学生のコミュニケーション能力はどうか、またその増長にどのように取り組んでいこうとしているのか。

教育長 スピーチやプレゼンテーション、インタビュ

ーやディベート・討論などの活動が国語科だけでなく、各教科や総合的な学習の時間等に取り上げられ、子どもたちの「話す・聞く」力は向上している。

幼小中高継続指導6項目の中に位置づけ、徹底を図っている。

問 小・中学生の校内暴力や教師に対する暴力の実態はどうか。

教育長 昨年度、本市において中学校における生徒間暴力が3件報告されている。教師に対する暴力についての報告は、小学校・中学校ともにありません。今後相互の信頼関係を第一として、関係機関と連携をとりながら、児童・生徒の問題行動の解消のために、全市を挙げて生徒指導の充実を図っていく。

個人 山本 正美 質問

広聴・広報活動の充実

問 計画の策定や施策の形成段階からの市民参加体制の充実にとどのように取り組んでいるのか。

市長 市民の意向を把握するだけでなく、情報を共有しながら政策決定の段階か

ら市民が関わる仕組みを作り、多くの市民の意見が市政に反映するよう努めていく。

問 政策情報としての資質の向上や高度情報化に対応した広報活動の充実にとどのように取り組んでいるのか。

市長 「広報やちまた」や「市勢要覧」などを発行するほか、ホームページを開設していますが、情報通信技術の進展に伴い、今後さらにインターネット利用者の増加が見込まれるので、今後もホームページの充実と高度情報化に対応した正確かつ迅速な情報の提供に取り組んでいきたい。

行政事務の効率化

問 地方分権への対応にどのように取り組んでいくのか。

市長 地方分権の時代にふさわしい、簡素で効率的な行政運営を主体的に行っていく必要があるため、行政の簡素・効率化、市民福祉の向上を目的として、事務事業の見直し、公共施設の管理体制の見直し、時代に即した組織・機構の見直し、定員管理の適正化など、時代に対応した行政改革の

推進を図りたい。

問 厳しい行財政運営の中では行政だけの取り組みで諸課題に添えていくのは困難と思うが、公私の役割分担などを明らかにしながら市民協力をどのように取り組んでいくのか。

市長 総合計画でも「市民とともにつくる街」として位置づけをし、市民協働を推進することは、地域の自治意識の高揚や愛着感を高めることにもつながるので、市民がまちづくりに参加しやすい基盤を作り、市民と協働のまちづくりを進めていけるように、市民参画協働条例の策定なども含め、今後検討していきたい。

地域福祉活動の強化

問 在宅サービスの総合的供給体制の確立に向けて、どのように取り組んでいくのか。

市長 長期にわたる高齢期を高齢者だれもが家庭や住みなれた地域社会において健康で生き生きと生きがいを持って暮らし続けられるような、在宅福祉サービスの提供が重要と考えており、現在、介護保険制度の改正を踏まえた市老人保健福祉

計画の見直しの中で、保健、医療、福祉分野の連携を図りながら、在宅サービスや施設サービスなどのサービス提供体制の整備に努めてたい。

問 福祉・医療・保健のネットワークシステムの確立にどのように取り組んでいくのか。

市長 医師会の協力をいただきながら、母子保健事業や成人・老人保健事業の各種健康診査を初め、高齢者等には健康教育、保健指導を継続的に行うことにより、生活習慣病の予防や疾病の早期発見と適切な医療への受診につながることを推進している。

総合的には老人保健福祉計画を初めとして、障害者基本計画等の各種計画に基づき、福祉、保健、医療において連携したサービスを提供することを推進することとする。

問 福祉施設と地域の交流強化をどのように進めていくのか。

市長 人と人のつながりを強めるためには、地域でさまざまな交流が必要であることから、子どもや高齢



◀母子保健事業（三歳児健診）

者といった異なる世代間交流の促進や、地域に立地する社会福祉施設と地域との交流の促進など、日常の中で子どもや障害者、高齢者がとも心触れ合うような交流事業を充実していきたい。

問 社会福祉協議会の機能充実にとどのように取り組んでいくのか。

市長 地域で支え合う福祉を推進する上において、住民と福祉事業関係者に広く関わる市社会福祉協議会の役割の拡充は必要と考えているので、今後とも市社会福祉協議会活動に対する支援を行い、地域で支え合う福祉活動の充実を図っていく。